



At the heart of the image

第157回
TopEye
賞

「寄り道」黒岩 乃菜 (熊本県・八代白百合学園高等学校2年)



ガンバレ写真部
高岡第一高等学校(富山県)
ゆるやか、でもアクティブ!
メリハリ写真部快進撃!

簡単マスター!
デジタル写真スクール 第9回
友達も喜ぶ!
人物写真の徹底レッスン

視想講座 VOL.253
谷角 靖
出会いと経験の蓄積が
拓く世界

情報ひろば
FRIEND'S EYE
フォトフォトOB/OG訪問
滋賀県立草津高等学校OG 池田彩乃さん
暮らしの中の
「生きる」を写したい



Nikon **News**

第58回ニッコールフォトコンテスト“U-31部門”に
昨年度TopEye賞受賞者がみごと入賞!



審査員 大西みつぐ
1952年東京・深川生まれ。「遠い夏」で第18回木村伊兵衛写真賞受賞。ニッコールクラブ顧問、日本写真家協会会員、東京総合写真専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。

写真とは深い思索の旅である／大西みつぐ

今回は従来の写真部学生らしい写真といったオーソドックスな作品が最終的に残ってきました。カメラを振り回して撮ったものや、受けねらいのお茶目写真といったものが目立たなくなってきたのかもしれない。それはもはやデジタル一眼レフが当たり前の存在としてみなさんのすぐそばにあることの証だともいえます。しかし一方で現代写真の世界では、銀塩モノクロ写真を重厚な表現として丁寧に処理していく人たちが若い人たちの間に広がってきていますし、写真学校などでは古典技法によるプリント制作も時おり実施されたりしています。それはテクノロジーが進んできた時の単なる回帰現象ということではなく、結局「写真とはなんだろう」という興味に由来するものだと考えます。みなさんも、どうかそのことをたまにでもいいですから考えてみてください。そこから写真と人間、写真と社会などさまざまな思索の旅がはじまります。

特報!
第58回ニッコールフォトコンテスト「U-31部門」に昨年度TopEye賞受賞者がみごと入賞!
裏表紙を見てね!

TopEye賞



表紙に大きく載ってるよ!!

「寄り道」黒岩 乃菜

熊本県・八代百合学園高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Aオート (f/4.5) ●ISO400

まっすぐにお家に帰りましょう!といわれても、古今東西、誰でも「寄り道」は楽しいものです。(お父さんたちも赤提灯に立ち寄りませす!)この自由な時間にありったけの個性と好奇心をぶつけたくります。雨上がりの里山の空気をいっぱい吸って、二人の女の子が無心に遊んでいる様子がとてもかわいいですね。カメラマンをまったく意識していません。そのことでとても自然なしぐさとなり、よい構図で撮れました。背景もF値が的確でいい感じです。帽子や長靴や傘、それにコスモスも含めカラフルな情景ですが、必要以上に鮮度も上がっていませんし、素材のもっている美しさをよく反映させています。二人に混じって、寄り道を積極的に楽しんだ作者ですが、やっぱりカメラを持ってよかったと思えたことなのでしょう。

準TopEye賞

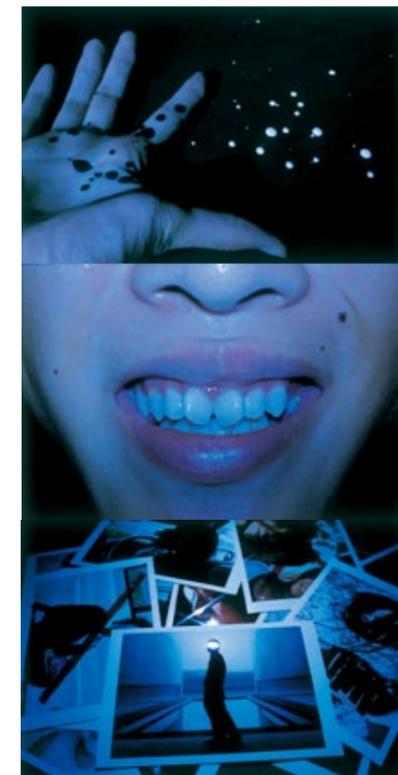
「その先を行け」矢野 菜理

千葉県立柏南高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ ●55-250mm
●Mモード (1/125秒・1/4000秒・1/800秒、f/5.6) ●ISO100・800・200

写真を撮る人が、いつの間にか、そこにいる人に入り込んでしまったような経験であると思います。こちらはそれほど肉体を動かしていないのだけれど、張りつめた神経としなやかに動く筋肉を代理体験をするかのように感じてしまう。その先へいけ!そして、いつしか自身へのエールに重なっていく。「感動」はそうして常に自己に帰結していくものです。全体を示すのではなく一部を切り取り、組写真にしたことで立派にそれを伝えていると思います。2枚目の写真が特に強いイメージですね。



入選



「二心」長浜 みさき

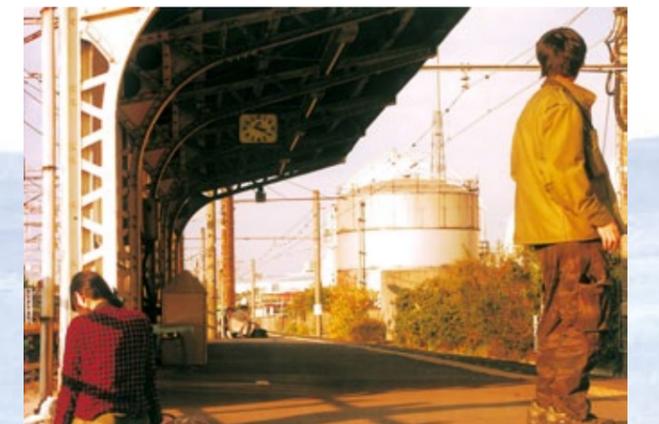
沖縄県立南部工業高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-135mm
●Mモード (1/160秒、f/8)
●ISO100

大林宣彦監督の名作映画「ふたり」を思い出してしまいました。(作者はもしまだ観たことがなければぜひ!)こちらはお友達との「二人」ですが、いわゆる「一心同体」ということでなく、微かな違いを表現しています。そこがいい。それに夕焼けがあまりに美しく、絵画的、映像的、それぞれのイメージを引き出しています。分かるか分からないかというぐらいいこうすらと表情を出したところを捨て、まったくのシルエットにしたのは正解です。

「それぞれの新しい明日へ」飯田 眞秀

東京都立芝商業高等学校3年
●D80 ●AF-S DX55-300mm ●Sオート (1/80秒) ●ISO400

こちらの写真も夕暮れ。そしてまったく映画のワンシーンのようにドラマチックです。しかし、偶然だという。このあたりが写真ならではの面白さといえましょう。午後3時20分のホームに作者が見た「明日」は、当然のこと、ここに写った人たちだけでなく、自身への問いかけにつながってきます。それは漠然としたものですが、しだいに期待感として膨れていく。向こうに見えるガスタンクの存在にまたしても偶然が重なります。



「嘘」金築 駿吾

島根県立松江南高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Mモード (1/60秒、f/5.6) ●ISO3200

映像(写真もそこに入りますが)を通して自分の気持ちや考えていることを表現しよう、伝えようということは面白いことです。一方にある「言葉」をここに託すことになります。しかし、言葉を考えて、それを写真にあてはめていくと案外むずかしくなったりしますし、結果として陳腐なものになってしまうこともあります。作者はいつも試行錯誤しながら大胆に写真を提示しています。その努力を評価しますが、もう少しだけ力を抜いてみましょう。

第157回 TopEye賞受賞
黒岩 乃菜さん
受賞のコトバをどうぞ!!

TopEye賞ありがとうございます。受賞の知らせを聞いたときは何かの間違いかと思っていました。TopEye賞が私の夢だったので、最高に嬉しいです。私は今年、写真部の部長を任されました。これまで大きな賞を頂いたことがなかったので、部長として不安を感じていましたが、これをきっかけに自信を持って部長の仕事に専念していきたいと思っています。今回は本当にありがとうございました。





TOP EYE 賞品

ニコンデジタル一眼レフカメラ
賞状 受賞者に

エプソン賞
プリンター EP-803A (もしくはAW)
受賞者所属の写真部に

※白・黒のどちらか1台となります。カラーはお選びいただけません。
※後日、プリンターのご使用につきましてアンケートにご協力いただくことができます。

準 OLYMPIE 賞
ニコンデジタルコンパクトカメラ 賞状

入選
ニコンオリジナルカメラバッグ 賞状

佳作
ニコンオリジナルポーチ、賞状

毎回応募で **狙え! 年度賞**

6-9月号 10-11月号 12-1月号 2-3月号

毎回の「入賞ポイント」を学校単位で合計して選出!

さらに
受賞ポイント

TopEye賞.....100ポイント
準TopEye賞.....70ポイント
入選.....50ポイント
佳作.....30ポイント
もうヒトイキDE入賞...10ポイント
皆勤校ポイント.....20ポイント

最優秀賞 合計ポイント1位の学校
優秀賞 合計ポイント2位の学校
敢闘賞 合計ポイント3位の学校

受賞校に
ニコンデジタルカメラ、エプソンプリンター、賞状、楯をプレゼント!

大舞台も待っている! 毎回のTopEye賞作品は次年度の「ニコールフォトコンテストU-31 (Under31) 部門」にノミネート! キミの作品が、さらに大きく羽ばたくチャンスだ!

佳作



「凜として」藤田 嶺
兵庫県・市川高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ ●14-42mm
●Aオート (f/7.1) ●ISO1600
学校に禅堂があるので、仏教を学ぶ時間も多いいと思います。この時代に敬愛の精神なくして私たちの歩みはないでしょう。作者の気持ちはタイトルに反映されているように、このわずかな、しかし十分に長いと思われる「時間」に自分が磨かれていくことと思います。シャッター音も気にならないような友人たちの表情がいいですね。



「待ってたよ。」南雲 美穂
新潟県立松代高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Pオート ●ISO400
説明によれば、ケーキ好きな妹さんと弟さんの「取り合い」の前だそうですね。なるほどうれしそうな顔は自然。ローソクの炎も美しいケーキにしっかりピントが合っているのは、カメラを構えたお姉ちゃんの興味もそっちにあるということ。残念なのはこの後の「取り合い」を組写真にして欲しかったこと。いや撮影どころでなく、漁父の利はお姉ちゃんにいったのかな?



「歳をとっても…」和泉澤 まどか
東京都・正則高等学校1年
●D40 ●AF-S DX18-55mm
●Pオート ●ISO800
結婚式でのスナップですね。明るくて上品で気持ちのいい空間であることがよく伝わります。親戚のおじさんとおばさんということ。あまり普段は照れくさいからこんな格好はしないのですが、晴れの日の喜びをみんなが全身で表していることがよく分かります。私たちの撮る写真の基本の基本はこうした家族のスナップショットにあることがわかってほしい。

「職人」佐藤 明日香
北海道札幌平岸高等学校3年
●D5000 ●AF-S DX18-55mm ●Aオート (f/4) ●ISO800
鉛細工の職人さんでしょうか? こうした職人さんを撮った写真は、その作業場等の光の条件も加わり、重厚なイメージを求めていますから、結果として明るさの問題としていえば「暗め」の写真になっていくのですが、これはめずらしくカラフルでいいと思います。そして当人の男性はひたむきに仕事をしています。



「この街で、」山田 遼平
埼玉県立新座総合技術高等学校3年
●D90 ●AF-S DX18-105mm
●Mモード (1/2秒、f/7) ●ISO400
いいタイトルです。後に続く言葉はみなさんそれぞれつぶやいていることと思います。被写体の女の子がわざとらしいポーズをつけていないから、逆に「声」が聞こえてくるのです。先日コンサロんで個展を開催した「小野啓さん」という写真家は全国の高校生のポートレイトをこうやって誠実に撮っています。人と向き合い、その場所を大切に。作者も同じ気持ちでしょう。

入賞作品はニコイメージングのサイトに掲載! チェックしてみよう! <http://www.nikon-image.com/activity/topeye/> 最新の応募用紙もダウンロードできるよ!

もうヒトイキ DE 入賞コーナー

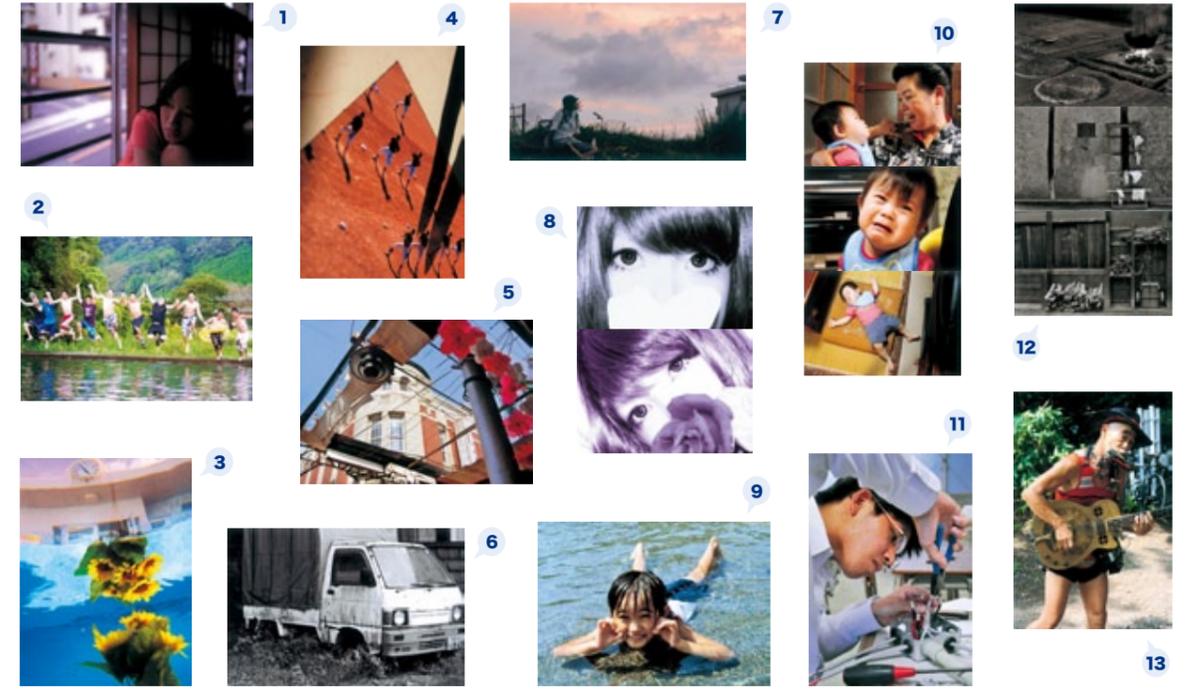
●「開拓」根田 治幸
北海道苫小牧工業高等学校3年

夕陽に染まったトラクターに北海道開拓の歴史や逞しさをこめているのはいいのですが、空が白く飛び過ぎてしまいました。もう少しトーンが出るよう露出を調整すると、プリント時に少しおさめてみましょう。

アドバイス

●「横たわる少年」内間 康博
沖縄県立南部工業高等学校3年

アドバイス
弟さんが起きているのか、寝ているのか読み取れないのが面白いところですが、あまりに外光が強すぎてしまい、そちらに目が向きません。自然光のみできれいに撮るには、このポジションだとやはりきついですね。



- 1 「思 春 期」 根本 貴彬 茨城県立緑岡高等学校3年
- 2 「ジャンプ!!!」 三浦 紗季 宮城県立宮崎工業高等学校3年
- 3 「vision」 神里 美香 沖縄県立南部工業高等学校3年
- 4 「UFOキャッチャー」 染谷 優 千葉県立柏南高等学校1年
- 5 「街への愛着」 森川 貴充 兵庫県立龍野高等学校1年
- 6 「引 退」 早田 旭 長崎県立上対馬高等学校2年
- 7 「自分を見つめて」 日井 悠大 川崎市立川崎総合科学高等学校1年
- 8 「花より視線」 阪田莉歌子 大阪府立成城高等学校2年
- 9 「笑顔!!!」 池津風紗 新潟県・中越高等学校2年
- 10 「りょうた君の一日」 吉原瑞貴 香川県立坂出高等学校1年
- 11 「試 行 錯 誤」 鈴木 大輝 栃木県立栃木工業高等学校3年
- 12 「時代を越えて」 大村 華子 東京都・正則高等学校2年
- 13 「公園のギタリスト」 高木 彩花 埼玉県立新座総合技術高等学校2年

Photo Photo SALON
年度賞ポイント 中間発表

★1位	熊本県・八代白百合学園高等学校	230 ポイント
2位	千葉県立柏南高等学校/沖縄県立南部工業高等学校	160 ポイント
4位	東京都・正則高等学校	130 ポイント
5位	新潟県・中越高等学校/埼玉県立新座総合技術高等学校	120 ポイント
7位	埼玉県立松伏高等学校/新潟県立松代高等学校	110 ポイント
9位	茨城県立水戸第二高等学校	100 ポイント
10位	川崎市立川崎総合科学高等学校/静岡県立伊東高等学校	70 ポイント

12位以下はこちら 12位(50ポイント)東京都立芝商業高等学校/島根県立松江南高等学校 14位(30ポイント)北海道札幌平岸高等学校/栃木県立栃木工業高等学校/三豊市立高瀬中学校/長崎県立上対馬高等学校 23位(10ポイント)北海道札幌北陵高等学校/北海道苫小牧工業高等学校/茨城県・水城高等学校/茨城県立緑岡高等学校/埼玉栄高等学校/東京都・東亜学園高等学校/千葉県立柏南高等学校/愛知県豊田東高等学校/大阪府立成城高等学校/兵庫県立宝塚高等学校/兵庫県立龍野高等学校/広島県立広島工業高等学校/鳥取県立鳥取高等学校/福岡県・精華女子高等学校/宮城県立宮崎工業高等学校/鹿児島県立種子島高等学校/沖縄県立浦添工業高等学校

常連校がさすがの存在感。でも、まだまだわからない! 栄冠はどの学校に?

次回 フォトフォトサロンの 応募締切は **2011年1月10日(月)** (当日消印有効) 応募用紙の注意事項をよ〜く確認してね!

ガンバレ写真部!!

それは今年初夏、富山県のデジタル写真ゼミでのこと。講義の合間に「ガンバレ写真部って、どうやったら出られるんですか?」と聞いてきてくれた部員さんがいたんです。「OK、じゃあ次の取材はキミたちだ!」とてなわけで、再びやってきました高岡市!高文連の写真展や各種コンテストに参加しまくりのアクティブ写真部。「目指せ、日本一の写真部」の野望を燃やす一方で、にこやかで、賑やかで、ゆるやかな愉快空間が広がっていました。

ゆるやか、でもアクティブ! メライ写真部快進撃! 高岡第一高等学校



部員: 26名 (3年10名、2年5名、1年11名)
活動: 月に2、3回の撮影会。県内のほか、能登半島、糸魚川、飛騨高山、東尋坊などにも。週に1度例会、あとは部員が自由に撮影。
世界遺産だ!
 よく行く撮影場所は、新湊の内川や、合掌造りで有名な五箇山。高文連の写真展や研修会には積極的に参加。
機材: 部室兼暗室あり。部所有のカメラはなく、部員や顧問の私物を使用。多くの部員がデジタルコンパクトカメラ所有、4名がデジタル一眼レフカメラを所有。暗室関連の機材はひと通りあり。デジタル関連はA4プリンタ。ほかに顧問私有のPC、A3プリンタも使用。
収入: 生徒会からの部費が9万円程度、学校祭では2万円。ほとんどプリント代、インク代として支出。
部費節約のポイント: 顧問の先生の太っ腹に頼ることも多いとか(拜)。

(上から) 島さん
 梅木先生、源さん、坂口さん
 柴野さん、大瀧さん
 草島さん、背戸さん
 和泉くん、佐野くん
 杉本くん

2人も保育士志望だそうです。

子供たちの素敵なアルバムとか、つくってあげられたらいいな♡



顧問の梅木先生、新品のD7000をのぞいて
 おお、画面が広い!
 造詣がうかがえるコメントです。



副部長の源さん

部長の島さん

部長、副部長ともう一人の部員さんの合作8枚組!

夢も大きいスローガン!
 おお、入賞作品どんだけあるんだ?

まばゆい実績と積極性!
 高岡第一高等学校は今年で創立51年。学校が生まれた数年後に写真部もあったというから、部の歴史もかれこれ半世紀近くです。県内の各種コンテストにバンバン出品する一方、全国高総文祭に1986年以来20回出場、出場回数では全国トップ10に入るという積極ぶり。そんな写真部を25年引っ張ってきた顧問の梅木先生、以前はプロの世界で働いたこともあるというから、腕も情熱も半端じゃない。さぞや部員一丸、目玉ギンギラまっしぐら!なのかと思いきや...



校に開催した文化祭の展示には、いろんなコンテストの入賞作品がズラリ。

楽しいことへの結束は固い!

意外にも、部員さんの口から飛び出したのは「自由だからいい!」というキーワード。部としての活動はかなり緩やかで、実はユーレイ部員も多しとか。じゃあ何でこんなすごい実績が?と取材するうちに気づいたのは、みんなの「楽しいことを見つけるぞオーラ」。取材当日も、面白い髪型をみんなでやってみたり、編集部の1人を見て「カメラマンの〇〇さんに似てる!」とモノマネをリクエストしたり。月に2、3度行うという撮影会も、先ずみんなでどこかに繰り出す感じが楽しい!という話。友達と時にワイワイ、時にまったりやっているうちに、実力をグングンつけているみたいなんです。



部長と副部長の髪型を、本日の女子のテーマにしてみました!



撮影者、被写体、先生がアイデアを出し合って...



サッカー部でした

元運動部の2人も、今では県の写真展入賞の実力派!

卓球部でした

トップアイに出たい!とやってくれた仲良し3人娘。



柴野さん撮影



和泉くん撮影



草島さん撮影

露出・シャッタースピード・ISO感度の関係がわかる先生自作の教材だっ。

達成感が次のやる気へ!

それでも実際の撮影になると、やはり梅木先生の存在が大きい!要所要所で被写体や構図など、結構具体的にアドバイスをくださるそうです。ご本人いわく、「賞を目指すテクニックより、生徒独自の表現を大切にしたいと思っています」一部員さんからは「入賞したらやる気が出たし、周りのものの見方も変わってきた」というツバヤキも…。うん、やはり目標があると、やる気も違ってくるよね!

雨だって、撮影意欲はしぼまない!

さて撮影体験。割とお天気運のいいガンバレ写真部取材班ですが、この日はあいにく雨。でも負けずに体育館で、バスケ部、バレー部、バドミントン部という「三バ部」の練習風景をバシャバシャ。「うーん、ちょっとブレるなあ、暗いのかな」あ、ほらそこは、さっきのミニ講義で説明した「ISO感度」を上げてみようか。という軽いアドバイスで、「やった、ブレずにとれた!!」自由にやっても、大事なところはしっかり吸収しているあたり、頼もしいですよ。これからも日本一の写真部を目指して、ワイワイ突き進んでね!



学校の体育館としては北陸屈指の規模だそうですよ。

晴れたら行くはずだった「金屋町」は、映画のロケ地にもなった古風な通り!

見よ、顧問と部員の一体感!!



「研修会、撮影会に注力して実力の向上を」

富山県高文連は平成元年に設立され、同年写真専門部が誕生しました。現在は28校約400名の部員が所属しています。県内外の写真家に依頼して、研修会や撮影会の充実を図っています。5月の初心者研修会、7月の秀作鑑賞会、8月の撮影会、11月のデジタル研修会に加え、今年は長野県にある光学機器メーカーを見学しました。

富山県高等学校文化連盟 写真専門部代表 梅木 宏真
 平成24年8月には全国高総文祭が富山県砺波市で開催されます。みなさま「美しき越の国」でお会いしましょう。
 光学機器メーカー見学の様子



「ガンバレ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに登場したい!という写真部(または写真部に準ずる部)は、「ガンバレ写真部取材希望」とお書きの上、
 ●部のPRポイント ●学校・クラブ名
 ●学校住所・電話番号 ●代表者氏名
 を明記して、TopEye編集部までご連絡ください。(連絡先は裏表紙に記載)

簡単マスター！ デジタル写真スクール

第9回

友達も喜ぶ！

1 ライティング 逆光+フラッシュでイケメン・マジカワ写真！

晴れた日に人物を撮る時、太陽の方を向いてもらうのが普通、と思ってるかな？実は、あえて逆光にしてちょっとしたテクを加えるのが、キレイ撮りのコツだ！

順光

撮影者が太陽を背にする

色はキレイに出るけど、まぶしいからイイ表情が出にくい。それに、目や鼻、あごの下に影がでちゃう。

逆光

被写体(モデル)が太陽を背にする

フツーに撮ると…ありゃりゃ、顔が真っ暗。でもこの状態で露出を上げると、背景が白トビしそう…

そこで！

カメラのフラッシュを活用！

一言アドバイス

フラッシュを使う時、フードを付けばなすと発光が遮られるので、必ず外そうね。

逆光+フラッシュ使用

カメラ内蔵のフラッシュを使えば、顔の部分もくっきり。フラッシュって夜だけじゃなく、こんな時にも使えるんだ。

使ってみたいな！スゴ機能

ニコンだけ！見たままの明るさを再現する「アクティブD-ライティング」機能

ニコンのデジタル一眼レフカメラにしかない機能なんですけど、コレを使えば、明るい部分と暗い部分の露出を自動調整して、目で見た感じに近い写真を撮ることができる。機会があったら試してみてくださいね！

豆知識！

「レフ板」という専用の反射板を使って、光の当り具合を調整することもできるわよ。キミの写真部にもあるかも？

2 構図 Lesson モデルは、建物よりカメラの近くに！

有名な建物などと一緒に人物を撮る時、人物が豆ツブ状態になることってあるよね。撮影時のちょっとした工夫で、どちらもバッチリ、カメラに収めよう！

ありがちな残念作品

建物はカッコよく撮れたけど、誰を撮ったのかよくわかんないぞ！

そこで！

モデルに接近
広角で撮影！

友達も喜ぶOK作品

人物も建物もしっかり撮れた。思い出になるね。

さらに

Let's 遊びゴコロ

人物のポーズをちょっと工夫。建物を「支えてあげている」感じを出した、ちょっと笑える記念写真に！

接近接近！

ニコちゃん、もっと近づくんじゃあ！！



一言アドバイス

絞り値を調整することで、背景をボカして人物を引き立てることもできるよ。いろいろ試してみよう！

ちょっと復習 前号(第8回)「絞り優先オート」を見てね！



人物写真の徹底レッスン

上級編に入り、ニコちゃん、トップくんのウデもだんだん上がってきた様子。最近は友達にスナップ写真を頼まれることもあるんだって。よし、じゃあ今回は、友達に「うまい！」と喜ばれる人物写真の奥義を伝授しちゃおう。と言っても難しいことじゃない。撮影現場でちょっと工夫することで、今までよりグッとイカしたポートレートが撮れるのだ。さっそくチャレンジしてね！

Lesson 3 いろんな高さで、印象度アップ！

普通は人物と同じ高さで、立って撮影することが多いはずだけど、ここでもひと工夫。カメラアングルを思い切って変えることで、写真の印象がスゴく違ってくるのだ。

アイレベル

スタンダードな安定感

アイレベル、とは「目の高さ」のこと。人物の視線よりカメラを少しだけ低めに構えるのが、安定感ある写真の定石だ。

ローアングル

足長モデル風！

たとえば階段なんかを利用して、うんと低い位置にカメラを構える。モデルさん顔負けの足長・小顔写真ができあがり。ついでに、画面手前の足を半歩前に出すと、足の長さが強調できるよ。

ハイアングル

かわいらしさ強調！

人物に座ってもらったりして、上の方から撮る。自然と上目づかいになって、かわいらしさが出るよ。ただし広角で撮ると頭でっかちになるので注意。ちょっと離れてズームを使うのがいい。

ここにワザあり

子ども、ペットはアイレベルでイキイキ！

街でカワイイ子どもやペットを見かけると、カメラを向けたくなくなるよね。そんな時は、しゃがんで相手の目の高さに合わせて撮ろう。驚かせずにすむし、イキイキと撮れるよ。撮る前には保護者や飼主の人にひと声かけるのを忘れずに！



Lesson 4 色かぶり対策 地面の照り返しをうまく防ぐ！

晴れた日に芝生の上などで撮影すると、緑色が反射して顔の色が不健康に見えてしまうことがある。それを防ぐ簡単な方法もあるんだ。

色かぶりの例

表情はいいんだけど、顔色に芝生の色が映り込んで、うーん、残念。

そこで！

モノトーンの上着などをモデルの前に敷く！

対策後

ちょっと反射を防ぐだけで、顔にかがっていた緑色が消えて、ずっと感じのいい写真に。

使ってみたいな！スゴ機能

ニコンの便利ソフトで補正もできる！

撮影現場で色かぶり対策ができない場合、写真を「RAWデータ」で撮っておけば、ニコンの無料ソフト「ViewNX2」などを使って、後から色かぶりを消すこともできるのだ！



ここからダウンロード

<http://www.nikonimage.com/support/downloads/digitalcamera/software/viewnx2.htm>

※「ViewNX2」はニコンD3100から同梱されています。

さっそく憧れのフォト夫くんの写真を撮って、宝物にしよう！



このように、小さな工夫でグッといい作品が撮れたりするから、写真は面白いんだ。次号はいよいよ終業式！写真が上達する「心構え」を伝授したい。お楽しみにね！

講師/斉藤勝則





撮影地 左上:ホワイトホース(カナダ) 右上:チンクエツレ国立公園(イタリア) 左下:トゥームストーン州立公園(カナダ) 右下:レッドウッド国立公園(アメリカ)

25歳の時、体力のあるうちに好きなことをやろうと決め、会社を辞めてスキーのインストラクター資格をとるためにカナダへ渡りました。そこでオーロラを初体験。知り合いが撮った写真を見て「こんなに美しく撮れるなら、カメラを貸してくれた父への土産に」と、出現率の高い北部へ移って撮りまくりました。

その後、ビザが切れるまでカヌーで旅行しようと思い、カヌーショップで働きながら技術を学んでいたなら、お客さんの中にオーロラツアー会社の社長さんがいて、誘われて働くことに。引き続いて仕事の合間にオーロラの写真を撮り貯めていたところ、ある時訪れた日本の編集者に見せる機会があり、航空会社の機内誌に掲載されました。そこから仕事が広がり、写真集を出し、オーロラツアー講師などの仕事も来るようになりました。

最初から写真家を目指していたわけはありません。ただずっと意識していたの

は、「自立し、自分の好きなことをやるための経験値を上げていく」ことでした。そして現在、気温マイナス50度など命がけの撮影や、写真家としての「営業活動」を続けていく上で、今まで蓄積してきたアウトドアのノウハウや仕事の経験、人間関係などが全部役立っています。

写真を撮始めた原点である「親しい人に見せたい写真を」という思いは、プロになっても変わりません。そのためにどこへでも行き、たくさんの人と出会い、様々な経験値を上げ続ける、これみずと変わらないでしょう。写真を正式に学んだわけではないので、今も時間があれば本を読んで勉強し、新しい技術や人がやっていない技法も貪欲に試しています。

ただ、写真が「天職」とは今でも思っていない。長い人生、これからの出会いや経験によっては他のことも始めるかも知れないし、そういう未来が楽しみでもありますね。

谷角 靖

Profile

(タニカド・ヤスシ) 1973年大阪府生まれ。日本写真家協会会員。企業勤務、調理師見習いを経て1999年よりカナダに移住、オーロラとの出会いをきっかけに写真を撮り始め、ニコンサロンJuna21にてデビュー。以降写真展を多数開催し、旅行誌などに執筆も行う。現在はオーロラのみならず、世界の絶景を旅しながら撮り回す。著書「オーロラの降る街」「オーロラの空」「極光物語」。



ホームページ
www.yasushi-products.com
ブログ
ameblo.jp/aurora-canada/

情報ひろば

FRIEND'S EYE

読者の皆さんと編集部が一緒につくる、フレンズアイ。カメラ関係のお役立ち情報に、読者の主張、写真についての疑問質問、写真展告知など、なんでもアリ。皆さんの情報提供、待ってます!

PhotoPhoto OB/OG訪問!



元気な先輩に出会いたい!
「PhotoPhotoSalon」で栄冠を手にした先輩たちの、ホットな「今」をご紹介します。数年後のキミがここにいる!?

高校時代から進学時の話を聞かせてください。

もうすぐ卒業、就職ですね。

後輩たちにアドバイス!

写真を勉強する「だいご味」って?

作品が「何を伝えようとしているのか」を読み解くことを学んでから、自分が写真で何を伝えたいかを懸命に考えるようになりました。写真って、作者のもの見方や考え方、人柄まで全部表れます。だから授業で作品を批評されるのは、自分の根本を問われることになる。結構厳しいですが、いろんな課題を乗り越えるたびに作品も、自分も成長していくのを感じます。クラスメートは、大卒の人や社会人も多く、いろんな年齢の人たちと友達になれて面白いですよ。でも写真の話になると年齢差は感じず、いろいろ激論しています。

高校時代から進学時の話を聞かせてください。

もうすぐ卒業、就職ですね。

後輩たちにアドバイス!

写真を勉強する「だいご味」って?

今は卒業制作で頭がいっぱい。これまでの作品を1冊にまとめるんですが、「ここまでやれば完成」というゴールがないので大変です。一方で、広告写真を手がけるスタジオへの就職を目指して頑張ってます。卒業後は、仕事をしながら公募展への応募や個展もやりたい!生活のシーンから「命」や「生」を感じさせるような作品をつくっていったら、と思っています。

後輩たちにアドバイス!

何はともあれ、撮り続けることが大事です。技術を覚えるのも楽しいですが、続けていくための原動力はやはり、撮っている時やプリントが完成した時の楽しさや充実感。それを忘れなければ進んでいけるはずですよ。お互い頑張りましょう!



写真フェスティバル「関西御苗場」に参加したり、合同展をやったり…忙しい中でも学内外の仲間と切磋琢磨!

個人ホームページ www.diced.jp/echo

ラストスパート大募集!

2010年度

フォトフォトサロン
次回応募締切
(=年度賞締切)

「TopEyeフォトフォトサロン年度賞」

いよいよ次号で決定だ!

1/10 (月)

フォトフォトサロンも次号で大詰め。1年間の入賞ポイント加算できる各校対抗「年度賞」が、次号でいよいよ決定だ! 上位校はホントに実力伯仲、どこが賞をとってもおかしくない状況だよ! 次回のキミの1枚で、入賞がキマるかも? がんばろう!

年度賞ポイント配点

- TopEye賞 …………… 100ポイント
- 準TopEye賞 …………… 70ポイント
- 入選 …………… 50ポイント
- 佳作 …………… 30ポイント
- もうヒトイキDE入賞 … 10ポイント
- 皆勤校ポイント ……… 20ポイント

★最優秀賞 (合計ポイント1位の学校)

★優秀賞 (合計ポイント2位の学校)

★敢闘賞 (合計ポイント3位の学校)

- ✓ **サイズ確認をしっかりと!**
規定のプリントサイズは [キャビネ・2L判以上、四つ切・A4サイズまで] 組写真の場合も、1点ごとにこのサイズでね!
- ✓ **応募は未発表作品のみ!**
ただし、文化祭や校内展など、校内発表のみの作品ならOKです。
- ✓ **二重応募はダメ!**
他のコンテストに出品した作品は、審査対象にできません。注意してね!
- ✓ **肖像権、著作権に注意!**
人物や、誰かの著作物を撮影した作品は、その方の了解を得て応募してね!
- ✓ **応募用紙は最新版を!**
本誌最新号に同封の用紙を使うか (コピー可)、「TopEye」WEBサイトからダウンロードしてね!
- ✓ **応募用紙の記入漏れに注意!**
「カメラ機種名」や「撮影データ」も忘れないで!
- ✓ **メール便で送る場合は早めに!**
郵便だと1~2日、メール便だと4日ほどかかる場合があります。審査日から逆算して、間に合うように送ってね!

応募用紙は最新版を!

第58回ニッコールフォトコンテスト「U-31」部門に TopEye賞受賞者が続々入賞! おめでとう!

すごいことになりました!ニッコールフォトコンテストに今年から新設された、若者限定「U-31」部門に、我々が「フォトフォトサロン」TopEye賞受賞者4人が入賞。授賞式に出席した2人に、さっそく話を聞いてきました!



11月6日に東京都内で開催された「第58回ニッコールフォトコンテスト」授賞式。

- 特選** 「プールとギターと少年」
田代つかささん
(第151回TopEye賞)
- 準特選** 「出産」
渡辺真友さん
(第153回TopEye賞)
- 入選** 「あと一步」
岩本未来さん
(第152回TopEye賞)
- 入選** 「故郷」
柳澤悠人さん
(第154回TopEye賞)



田代さん: 自分史上初めての受賞作品が、まさかこんな大きな賞もいただけるなんて!これを糧に、卒業後も頑張ります。いろんな公募展にも挑戦したいです!

柳澤さん: 受賞の連絡を受けた時のことは、正直よく覚えていなくて(照れ笑い)。式場でたくさんの方の作品を見て、改めて心が奮い立ちました。

◀ 式に出席した田代さんと柳澤さん。大西みつぐ先生の祝福にニコリ。

次回の栄冠は、キミに! 大西先生のメッセージ

今や高校生の作品は、ニッコールフォトコンテストでも十分に戦える力があります。むしろ、表現の自由度という点では対等以上かも知れません。みんな、どんどんチャレンジしてほしい。期待しています!

注目! 「U-31部門」はTopEye賞によるノミネートの他、**直接応募も大歓迎です!** 来年春は、ぜひ応募しよう!

U-31の入賞作品展を年明けに開催! 1/5(水)~1/17(月):ニコンサロンbis新宿、2/10(木)~2/23(水):ニコンサロンbis大阪 下段のニコンサロンインフォメーションをcheck

ニコンブースで待ってるよ!



カメラと写真のビッグな総合展示会「CP+ (シーピープラス)」、今年も横浜で開かれます!ニコンブースでは、ホットな写真家さんの

トークショーなど、盛りだくさんのプログラム。ぜひのぞいてみてね!

日時 2月9日(水)~2月12日(土)
10:00~18:00
(初日は12:00から/最終日は17:00まで)
会場 パシフィコ横浜
(横浜西区みなとみらい1丁目1-1)

『日韓/日中高校生写真交流の集い 写真展』ニコンサロンbisで開かれます!

写真を通して、外国の高校生との交流を広げる高文連交流の集い。その成果をご覧いただく写真展の季節がまたやってきました。今回は日韓、日中あわせて作品を展示。国境を越えた感性の共鳴が、エキサイティングだ!

全国高等学校文化連盟 写真専門部
日韓/日中高校生写真交流の集い 写真展
2月15日(火)~2月21日(月)
ニコンサロンbis新宿 10:30~18:30 (最終日は15:00)
2月24日(木)~3月2日(水)
ニコンサロンbis大阪 10:30~18:30 (最終日は15:00)

盛況御礼! 11.14 in ニコンプラザ新宿

第10回「高校生デジタル写真塾」



『月刊カメラマン』との共催で行なった「高校生デジタル写真塾」。1都3県が集まった写真大好き中高生33人が、ニコンのデジタル一眼レフカメラを手に、新宿中央公園で撮影体験、プリント体験。その作品でミニコンテストという豪華プログラムで、写真の楽しさを堪能しました!

●主催:(株)ニコンイメージングジャパン/月刊カメラマン
●協力:エプソン販売(株)

皆さんの 投稿歓迎!!

投稿の際には忘れずに書いてね!

- ① 学校名・クラブ名 ② あなたの住所 ③ 氏名
- ④ 電話番号 ⑤ 使用可能なメールアドレス

宛先

〒104-0045 東京都中央区築地1-5-11 築地 KB ビル 4F
(株)アドバタイズ TopEye 編集部宛
FAX (03)5148-0566 E-MAIL topeye@nikonoa.net

掲載者には、
記念品を
プレゼント!

Nikon Salon Information

<http://www.nikon-image.com/activity/salon/>

銀座ニコンサロン (03)5537-1469 10:30~18:30(最終日は15:00)

- 羽幹昌弘
「どうもこしの人間たち グアテマラ1981~2008」 12/15 ~ 12/29
(12/30~1/4 年末年始休館)
- 神村大介
「METROPOLIS [東京画像]:眺めのアウトライン」 1 / 5 ~ 1/18
- ニコンサロン企画展 ジョナサン・トゴウニク
「ルワンダ ジェノサイドから生まれて」 1/19 ~ 2 / 1
- 濱田トモミ「混濁」 2 / 2 ~ 2/15

新宿ニコンサロン (03)3344-0565 10:30~18:30(最終日は15:00)

- 第35回伊奈信男賞受賞作品展
善後 均「On the circle」 12/7 ~ 12/20
- Juna21 mk「悪い血」 12/21 ~ 12/29
(12/30~1/4 年末年始休館)
- 第58回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展
第2部カラー 第3部ネイチャー 1 / 5 ~ 1/17
- 藤田修平「路上の跡形」 1/18 ~ 1/24
- Juna21 古川裕也「ランドスケープ・イリュージョン」 1/25 ~ 1/31
- フォトシティさがみはら2010プロの部入賞作品展 2 / 1 ~ 2/14
(会期中2/11・12休館)
- 日本カメラ社「2010日本カメラフォトコンテスト展」 2/15 ~ 2/21

ニコンサロンbis新宿 (03)3344-0565 10:30~18:30(最終日は15:00)

- 三木淳奨励賞受賞作品展 飯島望美「豚が囃う」
Ryan Libre「Portraits of Independence:Inside
the Kachin Independence Army」 12/14 ~ 12/20
- Juna21 宮高奈美「Wonder Drug」 12/21 ~ 12/29
(12/30~1/4 年末年始休館)
- 第58回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展
第1部モノクローム 第4部U-31 1 / 5 ~ 1/17
- 木畑通晃「京の夏一掴み雛子の季節1979~2005」 1/18 ~ 1/24
- Juna21 添田康平「Not yet refugees」 1/25 ~ 1/31
- フォトシティさがみはら2010プロの部入賞作品展 2 / 1 ~ 2/14
(会期中2/11・12休館)
- 全国高等学校文化連盟
「日韓/日中高校生写真交流の集い写真展」 2/15 ~ 2/21

大阪ニコンサロン (06)6348-9698 10:30~18:30(最終日は15:00)

- 細川和良「混在する時間一大阪中之島」 12/9 ~ 12/15
- 百々俊二「大阪」 12/16 ~ 12/29
(12/30~1/4 年末年始休館)
- 第35回伊奈信男賞受賞作品展
善後 均「On the circle」 1 / 5 ~ 1/19
- 三木淳奨励賞受賞作品展 飯島望美「豚が囃う」 1/20 ~ 1/26

- 小野 啓「群青」 1/27 ~ 2 / 2
- 大阪芸術大学写真学科2010年度卒業制作選抜展 2 / 3 ~ 2 / 9
- 第58回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展
第2部カラー 第3部ネイチャー 2/10 ~ 2/23
(会期中2/19・20休館)

ニコンサロンbis大阪 (06)6348-9698 10:30~18:30(最終日は15:00)

- 川岸じろう「癌とたたかう」 12/9 ~ 12/15
- 伊藤善七「益田市大字カラス村」 12/16 ~ 12/22
- 小倉武五郎「Park City」 12/23 ~ 12/29
(12/30~1/4 年末年始休館)
- 関西スポーツ紙写真部会
「関西スポーツ紙カメラマン写真展」 1 / 5 ~ 1/12
- 三木淳奨励賞受賞作品展 金川晋吾「father」 1/13 ~ 1/19
- 三木淳奨励賞受賞作品展 Ryan Libre
「Portraits of Independence:Inside the
Kachin Independence Army」 1/20 ~ 1/26
- 日本写真映像専門学校卒業制作選抜展 1/27 ~ 2 / 2
- 宝塚造形芸術大学写真コース卒業制作展 2 / 3 ~ 2 / 9
- 第58回ニッコールフォトコンテスト入賞作品展
第1部モノクローム 第4部U-31 2/10 ~ 2/23
(会期中2/19・20休館)

スケジュールは変更になる場合があります。
詳しくは各サロンにお問い合わせください。

見てね! ネットでもTopEye

TopEye誌面のダウンロードや、フォトフォトサロン受賞作品の鑑賞ができます。
URL:www.nikon-image.com から「写真文化活動」>「写真部応援マガジン TopEye」へどうぞ!

「Top Eye」へのお問い合わせはこちらまで。
ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージングジャパン)

E-mail: topeye@nikonoa.net
TEL: 03-3769-7960